

**令和7年第1回 岩沼市議会定例会
一般質問(会派代表)通告一覧表**

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	7	自由民主党・ 政策フォーラム 高橋光孝	令和7年度当初予算の特徴・施策について 1. 令和7年度当初予算の特徴について (1) 策定中の「岩沼市地方創生総合戦略（案）」の目的・特徴を伺う。 (2) 「岩沼市総合計画」において「まちづくりの方向性」及び「将来像」の実現を目指していくため設定している4つの柱について、令和7年度の特徴と昨年度より力を入れた部分を伺う。 ① 「利便性が高く魅力的なまちづくり」の特徴と昨年度より力を入れた部分について伺う。 ② 「活力のあるまちづくり」の特徴と昨年度より力を入れた部分について伺う。 ③ 「一人ひとりが住みよいまちづくり」の特徴と昨年度より力を入れた部分について伺う。 ④ 「笑顔あふれるまちづくり」の特徴と昨年度より力を入れた部分について伺う。 2. 人口減対策について (1) 総務省の「住民基本台帳人口・世帯数、令和5年人口動態」によると、当市は自然増減がマイナス216人、社会増減がプラス8人となっている。令和15年の目標を45,000人としているが、どのような方法で人口増を目指していくのか、目標を50,000人とはしないのか伺う。 ① 新たな宅地開発について具体的にどこにどの程度考えているのか伺う。 ② 空き家を活用した移住政策をどのように考えているのか伺う。 ③ 今までのシティプロモーションの成果とこれからのシティプロモーションをどのように展開していくのか伺う。 ④ 宅地開発を円滑に進め、企業誘致などにもアピールできるようにするため、将来人口50,000人を目指し、人口50,000人の岩沼を想定したビジョンを描いてもいいのではないかとと思うがどうか。 3. 企業・店舗誘致について (1) 地域の雇用確保にも企業誘致は重要であるが、今後の企業誘致の方法と用地の確保をどのように進めていくのか伺う。	市長

(同)	7	自由民主党・ 政策フォーラム 高橋光孝	(2) 市内の飲食店など閉店が多く見られるが、空き店舗を活用した店舗誘致をどのように考えているのか伺う。 4. 市長公室について (1) 市長公室とはどのような役割を果たすのか伺う。 (2) 市長公室の体制はどのようなものになるのか。 5. 令和7年度末での当市の財政状況の見込みについて伺う。 (1) 財政力指数はどのように推移する見込みか伺う。 (2) 経常収支比率について伺う。 (3) 実質公債費比率について伺う。 (4) 将来負担比率について伺う。 (5) ラスパイレス指数について伺う。	市長
			<u>ふるさと納税について</u> 1. これから自治体が生き残るには上手にふるさと納税を活用していかなくてはならない。税金の流失が大きい大都市でも力を入れ始め、さらに競争が厳しくなると思われる。そこで当市のふるさと納税の取組について伺う。 (1) 令和6年度の当市の返礼品の総数・登録事業者数の見込みを伺う。 (2) 令和6年度の当市への寄付額と岩沼市民の他自治体への寄付額の見込みを伺う。 (3) 当市が契約している中間事業者は何社で何年契約か伺う。 (4) 当市が契約している中間事業者の選定理由について伺う。 (5) 1月に登録事業者に取ったアンケートではどのような回答があったか伺う。 (6) 現在の中間事業者では掲載までの時間が非常に多くかかっているが、中間事業者を変える、または、他自治体のように複数事業者と契約し返礼品提供の事業者を選んでいただくなど対策は取れないのか伺う。 (7) 一度当市に寄付いただいた方へのメルマガは、どのようなペースで、どのような内容を送っているのか伺う。 (8) 当市のこれからのふるさと納税返礼品の開拓やPRなど、どのように力を入れていくのか伺う。	市長

(同)	7	自由民主党・ 政策フォーラム 高橋光孝	う。 (9) 企業版ふるさと納税のプロモーション方法と 今後の見込みを伺う。	市長
2	15	公明党 長田忠広	医療的ケア児者支援について 医療的ケア児者とは、日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である方のことをいい、全国の在宅の医療的ケア児は、推計約2万人である。 令和3年9月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され、自治体による支援が責務となった。 これまでも定例会で医療的ケア児者支援について質問した。そこで、本市における医療的ケア児者支援の現況について伺う。 1. 相談体制の強化について (1) 基幹相談支援センター設置について 障害児福祉計画では、「令和8年度末までに設置」となっている。令和6年第3回定例会で「早めの対応が必要」と提案し、「確かに早く設置したいということではありますが、体制をしっかりと検討しながら、こういった設置状況がふさわしいのか、時間もかけて中身を検討していきたい。」との答弁だった。そこで、改めて早期の設置を提案するが見解を伺う。 (2) 児童発達支援センター設置について 障害児福祉計画では、「児童発達支援センター機能の設置に向けた検討を継続します。」とある。令和6年第3回定例会で、「広域での設置も含め検討の必要がある」と提案し、「児童発達支援センターは、おおむね10万人規模に1か所以上の設置基準でありますので、対象者の支援が広域にまたがることもあるため、近隣市町との広域での設置も検討しております。」との答弁だった。そこで、どのように検討してきたか伺う。 (3) コーディネーターの配置について 令和6年第3回定例会で、コーディネーターの設置を提案し、「相談支援事業所にも医療的ケア児コーディネーターの配置というのは必要だと感じています。その辺を周知していきたい。また、基幹型、機能強化型につきましても、司令塔的な役割というのが非常に重要だと認識しているの	市長 教育長

(同)	15	公明党 長 田 忠 広	で総合的に検討していきたい。」との答弁だった。そこで、どのように検討してきたか伺う。 2. 医療的ケア児の支援状況について (1) 市内の医療的ケア児の実数を伺う。(就学前と就学後別に) (2) 医療的ケア児の保育所入所について ① 令和6年第3回定例会で「ガイドラインを作成すべき」と提案し、「年度内には作成をして、体制づくり等を進めていきたいと考えております。」との答弁だった。そこで、現況を伺う。 ② 令和6年第3回定例会で保育士への研修の必要性を提案した。そこで、どのようにしてきたか伺う。 ③ 今後の方向性を伺う。 (3) 医療的ケア児の就学について ① 令和6年第3回定例会で「ガイドラインを作成すべき」と提案し、「年度内の策定を目指して取り組んでまいります。」との答弁だった。そこで、現況を伺う。 ② 令和6年第3回定例会で教職員への研修の必要性を提案した。そこで、どのようにしてきたか伺う。 ③ 今後の方向性を伺う。 3. 医療的ケア児者の防災対策について (1) 地域防災計画等への医療的ケア児者の位置づけについて、現状の市の地域防災計画等の中では災害時要配慮者としての位置づけが明確にされていない。明確な位置づけが必要と思うが見解を伺う。 (2) 災害時個別避難計画策定について ① 医療的ケア児者の災害時個別支援計画作成のためのマニュアルづくりを検討すべきと思うが見解を伺う。 ② 関係機関と連携の上で災害時個別避難計画策定を推進すべきと思うが見解を伺う。	市 長 教育長
			<u>防災・減災対策について</u> 1. 避難行動要支援者の避難支援体制について 当市は令和元年9月に要支援者の避難支援対策として「岩沼市避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)」を策定した。これまで避難行動要支援者の避難支援体制について質問してきたが、現在	市 長 教育長

(同)	15	公明党 長 田 忠 広	の状況と今後の取組を伺う。 (1) 令和6年第2回定例会の答弁では、令和6年2月16日現在の名簿登録者数は644件、個別避難計画策定は2件であった。そこで、直近の避難行動要支援者名簿登録者数及び個別避難計画策定の件数を伺う。 (2) 個別避難計画策定について 令和6年第2回定例会では、計画の作成から見た課題を整理し、介護福祉課、社会福祉課、子ども福祉課での取組を伺った。そこで、現在の状況を伺う。 ① 高齢者関係では、「関係機関に御意見をいただき、対象者のふだんの生活をよく知るケアマネジャーや地域包括支援センターの職員などの支援者が着手、作成しやすくなるよう、様式を見直しし、手引を作成いたしました。これを基に計画策定を進めている。」との答弁だった。そこで、現況を伺う。 ② 障害者関係では、「計画策定の必要の高い要支援者から、対象者をよく知る相談支援事業者と連携をしながら、様式のほうを整理してきた。」との答弁だった。そこで、現況を伺う。 ③ 子育て関係では、「今後着手する予定でございます。」との答弁だった。そこで、現況を伺う。 2. 指定避難所の住環境整備について (1) TKB(トイレ・キッチン・ベッド)の対応について ① トイレの備蓄の現状と課題を伺う。 ② 冷たく栄養の不十分な食事を避けて暖かい食事を提供することについての現状と課題を伺う。 ③ 現在、段ボールベッドの備蓄はない。しかし指定避難所に福祉スペースを設置する場合、速やかに段ボールベッドが必要である。そこで、指定避難所に数台の備蓄は必要だと思いが見解を伺う。 (2) 避難所となる学校体育館にエアコン設置が必要と思いが見解を伺う。 3. 福祉避難所について (1) 令和6年第2回定例会で「1月16日に開催し	市長 教育長
-----	----	------------------------	--	-------------------

(同)	15	公明党 長 田 忠 広	た福祉避難所意見交換会では、9法人10名の方が参加して、災害時の物資の供給や要支援者名簿等の取扱い、地域の防災士や防災介助士等を活用した福祉避難所の支援員の確保などの意見があった。」との答弁があった。そこで、現在の進捗状況を伺う。 ① 支援人材の確保について ア これまでの定例会で「福祉避難所支援員の育成」について質問した。令和5年第3回定例会では「意見交換を進めて、研究してまいりたい。」との答弁だった。そこで、研究の状況を伺う。 イ 地域の防災士などの協力をもらい、支援員の育成に取り組んではどうか伺う。 ② 備蓄品の確保について ア 福祉避難所への備蓄品の対応について伺う。 イ 令和6年第2回定例会で「福祉避難所に備蓄品を置くスペースには限りがあるので、総合福祉センターなど一か所にまとめて備蓄し、必要時にプッシュ型で対応してはどうか。」と提案した。「個々に意見を聞いて考えたい。」との答弁であったが、状況を伺う。 (2) 福祉避難所の運営について ① 開設基準と開設までの手順を伺う。 ② 受入体制について、現在当市では二次避難所の取扱いになっているが、仙台市は次年度から「指定福祉避難所の設置」を行う。そこで、当市も「指定福祉避難所」の在り方を検討し、個別避難計画策定の際に福祉避難所に直接避難できる仕組みを構築することも必要と思うが見解を伺う。 (3) 今後の対応について ① 福祉避難所の確保・運営ガイドラインを作成してはどうか伺う。 ② 福祉避難所の避難訓練を実施してはどうか伺う。 4. 災害ケースマネジメントの仕組みづくりについて 災害ケースマネジメントとは、災害が起きた後に、自力で生活再建することが難しい被災者一人一人の事情に合わせて、支援計画を立てていくという	市 長 教育長
-----	----	----------------	--	------------

(同)	15	公明党 長 田 忠 広	ものである。令和6年第2回定例会で災害ケースマネジメントの仕組みづくりを提案し、「連携が必要な社会福祉協議会、地域包括支援センター及び相談支援事業所などと意見交換、情報共有を行いながら、今後、少し時間はかかるかもしれませんが、岩沼市に合った仕組みづくりを考えてまいります」との答弁だった。そこで、どのように検討してきたか伺う。 5. 防災に関して締結している協定、覚書について (1) 当市の協定、覚書の現況を伺う。 (2) 協定を結んでからどのようにして見直しを図っていたか伺う。 (3) 令和6年能登半島地震では、「ムービングハウス」と呼ばれる仮設住宅がいち早く設置された。そこで、被災者の安全と安定した住環境を確保するため、災害時におけるムービングハウス設置に関する協定を締結してはどうか伺う。 6. 防災教育について (1) 小中学校での防災教育の取組と今後の方針を伺う。 (2) マイ・タイムラインの普及のため、小中学生の課題として取り組んではどうか伺う。 (3) 岩沼市総合防災訓練に小中学生の参加を組み込んではどうか伺う。	市 長 教育長
-----	----	----------------	---	------------